

動向集の調査項目について各グループから出された意見と方向性

No.	事項	意見	グループ	方向性
1	概要版の作成	<ul style="list-style-type: none"> 概要版があったほうが目を通しやすい。 概要版を作成してそれを配布。他の部分はホームページ等で公表 今年度の傾向や、昨年度に比べての進捗、東京都の傾向を掲載すると概要版の代わりになる。 わかりやすい版もあると、知的障害のある方はもとより、一般市民にも関心を持ってもらいやすい。 	両グループ	<ul style="list-style-type: none"> 今回は従来の形で印刷費が計上されているため、印刷物としてではなく試作版を作成 わかりやすい版については、今後の検討課題とする。
2	ピアサポーター	ピアサポーターが実際どのように活躍しているか、相談支援事業所への関与、ピアサポート体制加算の状況等を把握したい。	両グループ	<ul style="list-style-type: none"> 委員構成で「障害当事者（ピアサポーター含む）」としていたものを、分けて問う形とする。 相談支援体制の新規設問で選択肢の一つとする。
3	協議会における事例検討	協議会における事例検討の回数や参加機関数、事例検討を通じて地域課題を取り上げる仕組みを確認したい。	相談（※1）	「法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等」についての設問で、個別事例の検討を行っているとした自治体に対し、左記の内容を問う設問を設ける。
4	相談支援事業者と協議会	相談支援事業者から上がってきた課題を協議会で取り上げているかどうか知りたい。	協議会（※2）	「法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等」についての設問で選択肢を追加する。
5	ICTの活用	オンラインでの傍聴を実施しているかを問いたい。	協議会	「ICTの活用」についての設問で、選択肢を追加する。
6	各協議会の一言アピール	<ul style="list-style-type: none"> 報告書の親しみやすさが増し、自治体にとっては振り返りの機会となる。 回答者のハードルが高くないような工夫は必要 	両グループ	東京都のように今年度の方針やテーマを設けているかを尋ね、設定している場合は、その内容を回答してもらおう。
7	今年度方針に沿った新しい設問	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援が障害者本人のものになっているか、本人の悩みや困りごとを聞いているか。 サービスにつながっていない人への支援 意思決定支援の推進へのサポート のぞまないセルフプランの解消 	両グループ	新規設問「相談支援体制を推進するための取組」を設定
8	地域移行に係る意向確認	<ul style="list-style-type: none"> 地域移行は、障害福祉計画でも盛り込まれている事項であり、設問は残した方が良い。 地域移行に係る意向確認について、相談支援職員の関与状況、自治体の把握状況を確認したい。 	相談	新規設問「地域移行に向けた相談体制」を設定
9	障害当事者の参画状況	<ul style="list-style-type: none"> 人数を問う設問で、全体会か専門部会かを分けて集計 障害種別で、家族の区分と同様に「重症心身障害」を入れる。 	協議会	<ul style="list-style-type: none"> 当事者・当事者家族とも、全体会のみ、専門部会のみ、兼任に分けて人数を問う形とする。 「重症心身障害」を追加
10	障害当事者への配慮、参画意義、選任できない理由	<ul style="list-style-type: none"> 自由回答ではなく選択肢を設ける。 具体的な協議会の進め方、運営の中身を他の地域でも知ることができる問いを設定 知的障害のある当事者から意見を引き出すための工夫を問う。 選択肢に、当事者参画の広がりについての内容を入れる。 	協議会	各設問について、意見の要素を入れた選択肢を設定。あわせて自由意見も回答できる形とする。

No.	事項	意見	グループ	方向性
11	相談支援体制の整備状況等	回答の表記を視覚的に分かりやすくする。	相談	○×を基本に分かりやすい表記とする。
12	基幹相談支援センターの設置状況	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口等の周知状況を問う設問を設ける。 ・「担っている機能」で、今年度新たに追加した機能の表記を変えて、違いが分かるようにする ・基幹相談支援センターが協議会事務局を担っているかどうかを把握する。 	相談	<ul style="list-style-type: none"> ・新規設問「相談支援体制を推進するための取組」の選択肢に加える。 ・新規のものは表記を変え、違いが分かるようにする。 ・基幹相談支援センターの担っている機能等で、「地域自立支援協議会との連携」を「協議会事務局」に差し替え
13	当事者家族	家族支援という視点で設問が設けられると良い。	協議会	これまで取り上げてきていない分野であり知見不足のため今回見送り
14	相談支援体制の整備状況等	主任の配置数、機能強化事業所の設置数、相談支援専門員1人あたりの月平均算定数	相談	ボリュームが増えすぎてしまうため、今回は見送り
15	基幹相談支援センター	地域の相談支援事業所に対する訪問等による専門的な指導・助言件数、地域の相談支援事業所の人材育成の支援件数、地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数、個別事例の支援内容の検証の実施回数の見込み、主任相談支援専門員の配置数の見込み	相談	ボリュームが増えすぎてしまうため、今回は見送り

※1 相談支援体制推進グループ

※2 協議会活性化グループ